

令和 6 年新年会のご案内

皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

早いもので師走、何かと慌ただしい年の瀬です。

朝晩などは底冷えのする毎日ですが、皆様お変わり
ございませんか。

さて、4 年ぶりとなりますが、会場を御徒町にある
「吉池食堂」に設け、下記の要領にて令和 6 年新年会
を開催致します。

会員の皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

～令和 6 年 東京片貝会新年会 開催要領～

日時 令和 6 年 1 月 28 日 (日)

午後 1 時～

(午後 0 時 30 分より受付)

会場 吉池食堂

(JR 御徒町駅前・吉池本店

ビル 9 階 右の案内図参照)

050-5484-5295

会費 6,000 円

留意事項

- ・ 当日、発熱や体調不良がみられる場合は出席をお控えください。
- ・ 会場入場時は手指消毒され、会場内でのマスク着用は個人の判断とします。

出欠はこの会報に同封の返信用ハガキにて 1 月 10 日(水)までに到着
するようご返信をお願いします。

お問い合わせ先

050-3552-9801 (会長 安達亮一)
ryoichi.adachi@tokyo-kataikai.net



ホームページはこちら

(▼この QR コードから)



<https://tokyo-kataikai.net>

LINE グループ

「なじらね片貝」

最新情報をスマホに
お届けします



◀こちらの LINE アカウント
(理事の友田啓(あきら)さん)
まで 氏名と「なじらね片貝参
加希望」を添えて

■新理事紹介■

2023/7 就任 浅田友則さん (S60
卒 輝友会 清水町出身)

「微力ながら本会と片貝のために
頑張ります」とのこと。ご支援の
ほどよろしく申し上げます。

■弓張提灯を制作■

小型の祭礼用の弓張提灯をふた張
り作りました。9 月の浅原神社例大
祭での各同級会出発式や本会有志
による花
火奉納で
お披露目
しまし
た。



会の動き

理事会 2023/5/21

於 新潟県人会館

安達会長以下 12 名

・会報発送

総会 2023/6/25

東京グリーンパレス(2 面参照)

片貝中学校同窓会総会 2023/7/2

安達会長以下 5 名

納涼会 2023/7/22

於 吉池食堂 13 名

片貝まつり 2023/9/10

記念行事同級会への出発式
挨拶および祝い酒

有志花火奉納

相撲栈敷での懇親会

教育講演会 2023/10/20

片貝小学校創立 150 周年

記念式典 2023/11/11

安達会長以下 5 名

理事会 2023/11/19

於 新潟県人会館

安達会長以下 12 名

・広報ほか活動報告

・新年会開催要領の討議

総会4年ぶり片貝来賓ご招待

6月25日 東京グリーンパレス

第64回東京片貝会総会が会員43名と4年ぶりのご来賓44名の参加のもと総勢87名で行われました。

事務局長の藤塚伸雄の開会宣言に続き、会長の安達亮一がご挨拶を申し上げます。その中で、令和2年春頃からの新型コロナ感染拡大から3年が経ち、今回ようやく総会をご案内でき、本日多くの会員と片貝からのご来賓の皆様方に参加いただいて開催することとなり、この状況がこれからも続く

よう願っていると申し上げます。

続いて恒例の会計・会計監査・広報・母校への図書費贈呈の報告が行われました。その後久しぶりにお越し頂いた来賓の皆様をご紹介します。来賓を代表して、小千谷市教育長の松井周之輔様と片貝町協議会会長の矢野幹雄様のご挨拶を頂きました。

そして前東京片貝会会長の本田秀幸様の再会を祝しての乾杯の音頭に引き続いて懇談会が行われま

した。懇談会の途中からは、今年記念行事を迎えた同級会のご紹介と伝統芸能保存会の皆様方の演奏が行われ、久しぶりに楽しい総会となりました。最後には、今年古希のにじ会の安達徹様の万歳三唱で閉会となりました。

【会員出席者】(敬称略)

(昭和21~39年卒)

溝手俊一(26)、荒木ムツ、佐藤祐一、松岡規子(27)、黒崎 勝、吉原武夫(28)、小宮善興、藤塚 悟(31)、安達 弘(33)、高波国男(35)、佐藤篤司、本田秀幸(37)、小野塚和夫、芝 強、吉田邦男(38)、佐藤正志(39)

(昭和40~平成元年卒)

相崎俊夫(40)、安達 仁、安達 徹、阿部 清、栗原知子、小林和弘、山口光夫(41)、安達裕子、安達亮一、早川芳枝(42)、



【東京片貝会へご寄付】(令和5年4~10月)

下記の方々から会へのご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)
溝手俊一(26)、松岡規子、石橋行夫(27)、安達 隆(28)、安達弘之(30)、平石和子、小野塚清(31)、安達 弘(33)、佐藤篤司、本田秀幸(37)、小野塚和夫、芝強(38)、佐藤正志(39)、阿部 清、小林和弘(41)、安達亮一(42)、内藤富美子、藤塚 弘(43)、山口昌幸(55)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)、名塚孝雄(H1)

内藤富美子、藤塚 弘(43)、荒川成子(47)、櫻井綾子、深江久美子、藤塚伸雄(48)、目黒 栄(49)、徳永隆浩(52)、松山朱実(53)、小野塚括吉、堀井ひとみ(54)、佐藤潤、山口昌幸(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)、名塚孝雄(H1)

陽光会傘寿記念旅行

「頑張ったのー」「そうでもないてー」懐かしい声が飛びかう。
陽光会 80歳旅行は、6月28・29日湯沢温泉で開催された。恩師を招いて、総勢43名。
来られなかった友の消息をたずね、健康を祝い、次の集いを夢にみて別れとなった。(文 小宮善興)



「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は
⇒ JA越後おぢや
JA 越後おぢや
〒947-0031
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3425

税務相談

お気軽にどうぞ

もろが会計事務所

諸我時夫(昭32年卒)
柏市増尾8-22-9
自宅☎04-7176-4528
事務所03-3888-4190

越後小千谷片貝
有限会社



米萬商店

代表取締役 相崎秀人
〒947-0101
小千谷市片貝町5347番地
☎0258(84)2057

～第41回母校を励ます会 教育講演会～

「グラフィックデザイナーの仕事」とは 開催

安達 美紀さん 第42回(平成元年)卒 希進会
令和5年10月20日 片貝中学校にて

講演骨子

書道・音楽・絵画や版画とたくさんの刺激に囲まれて育った美紀さんはデザインの世界に惹かれ、スポーツグッズや文房具メーカーなどの製品や広告で活躍の場を広げてきました。

グラフィックデザイナーには絵心はもちろん、柔軟な発想で社会や相手のニーズを感じ取り制作する力が求められます。

美紀さんならではのこだわりを持つ一方、思うに任せないこともある職場環境や育児や家事との両立を乗り越えて世に出した数々の作品を紹介いただきました。

小中学生の皆さんにとって好きなこと、やりたいことはそれぞれ、これから進路に悩む場面もあろうがそんな過程が大事と美紀さんは言います。男女の異なる個性や AI(人工知能)・ネットの活用、片貝に育ったからこそその強みを意識して、これからの働き方に見合った仕事を見つけてほしいと熱く語りかけました。

生徒児童の感想より

◆ネット社会でのコミュニケーションの大切さがわかった◆目立つデザインや商



品の良さを伝える難しさがわかった◆自分の中にある好きなことを大切にしたい

= = = = =

【母校を励ます会基金ご協力者名】

(敬称略) (令和5年4～10月)

太刀川三郎(15)、阿部修次(21)、友田善智(22)、長岡利夫(23)、佐藤祐一、松岡規子(27)、安達隆、黒崎 勝、吉原武夫(28)、吉井 均(29)、安達弘之(30)、小野塚清、後藤美恵子、小林昌子(31)、諸我時夫(32)、安達 弘(33)、高波国男(35)、大矢とらじ、佐藤篤司、外山ひろ子、本田秀幸(37)、小野塚和夫、吉田邦男(38)、谷内 弘(39)、相崎俊夫(40)、安達 徹、阿部清、山口光夫(41)、安達 亮一(42)、内藤富美子、藤塚 弘(43)、高野昭人(47)、深江久美子、藤塚伸雄(48)、目黒栄(49)、徳永隆浩(52)、松山朱実(53)、堀井ひとみ(54)、佐藤 潤、山口昌幸(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田啓(58)、名塚孝雄(H1)

講演を終えて

安達 美紀さん

この度、講演にあたり母校に足を踏み入れたとき、自分が中学生時代に過ごした校舎ではなかったのですが、包まれる雰囲気懐かしさと安心感を覚えました。ちょうど清掃の時間で、とても元気のよい挨拶してくれる生徒たちの明るい声と姿にこちらまで励まされ、私も笑顔でのびのびと講演に臨めました。確か挨拶の街片貝小中学校だったと思います。公演中も明るく元気な児童生徒たちに助けられました。ありがとうございました。

今回このような機会をいただきグラフィックの職業についてお話しましたが、私にとっても半生をふり返る良い機会となりました。もう少し年頃の進路の悩みに沿った話にすれば良かったかなと感じていますが少しでも児童生徒たちの肥やしになれば幸いです。

講演会の準備進行をしてくださった中学校教職員の皆様、東京片貝会の皆様、希進会のメンバー、会場にお越しの地域の方々、皆様にお礼申し上げます。

母校を励ます会へのご寄附をよろしく願います。

片貝総合センターの『円筒埴輪』は語る (第1回)

寄稿 若杉会 山口石根さん

片貝総合センターの玄関ホールに土管のような形をした円筒埴輪が「十三畑出土 片貝小学校保有」と表示されて展示されているのをご存じだろうか。かつて木造校舎時代の玄関に入ってすぐ右の理科室の棚に保管されていたものである。この円筒埴輪は本来前方後円墳等の古墳の上に並べて飾ってあった祭祀具である。これが存在するという事は、片貝の古代の歴史を研究する上で、外すことのできない国宝的な価値がある物的証拠の一つといえる。



我が片貝村はご存じのように江戸時代から大変教育熱心な村であった。当時の村の有力者によって二百数十年前の天明年間に朝陽館、のち改め耕読堂がつくられ、近在の村か

らも多くの生徒が集まり、水準の高い教育が行われた。明治7年に学制頒布によりこの村塾を引き継いで片貝校が開校され、さらに明治10年には片貝村役場と片貝尋常小学校が現在の「に」組総合センター辺りに新築された。その後、手狭になったため、現在の小学校所在地である十三畑の丘の先端部を切り崩し、木造校舎が完成した。こうして広い平地を造成する大工事の過程でここにあった全長数十メートルとみられる小型の前方後円墳が不注意にも切り崩され、古墳の上面に飾ってあった円筒埴輪が見つかったものと思われる。

【写真=山口石根さん提供、以下次号に続く】

印半纏、のれん、手拭
各種染織品洗旭
日本伝統織物 片貝木綿製造元

(有)紺仁

〒947-0101
小千谷市片貝町4935

☎0258-84-2016

http://www.konni-aizome.com
konni@echigo.ne.jp



総合設備工事業 (設計・施工・保守)

株式会社 しん 設備

代表取締役 黒崎哲郎

〒947-0101 小千谷市片貝町5048-1
tel:0258-84-3599 fax:0258-84-3799
URL http://www.shinaetsubi.co.jp



mazda

マツダオートザム小千谷
株式会社ロータス片貝

小千谷市片貝山屋町1-1
電話番号 0258-84-2405

ものづくりの基盤を支える
伝統と最新技術の高品質鋳物メーカー

自動車・トラック 鋳造・鍛造・溶接・内製鑄・工作機械・金型製作

ISO 9001:2015 審査登録

株式会社 片貝製作所

取締役会長 遠藤 充
代表取締役社長 遠藤 隆幸

〒947-0101 小千谷市片貝町10367-10
☎(0258)84-2322(代) FAX(0258)84-3805
https://k-hp.ketakai-mfg.co.jp/

ふるさと・は・今 令和5年5月より 令和5年11月まで

母校近況

■小学校 長井教頭先生

【創立150周年】

11月11日、片貝小学校創立150周年記念式典を挙行し、長い歴史を祝いました。

【スポーツフェスティバル】

「150周年 絆を深め 勝利を目指せ!」のスローガンの下、全校児童が赤組と白組に分かれ競技と応援で優勝を目指しました。さらに、今年度は創立150周年記念事業の1つとして記念遊具を決める「親子玉入れ」も行いました。

【6年生 佐渡修学旅行】

今年度も、佐渡島で様々な体験活動を満喫してきました。鼓童の太鼓体験では、自分の体よりも大きな太鼓等、いろいろな種類の太鼓を叩いたりすることができました。佐渡金銀山については、坑道や金の精製の様子など、事前学習で学んだことを自分たちの目で確かめました。



【5年生 妙高自然教室】

妙高自然の家で、2日間に渡って宿泊体験をしてきました。1日目の夕飯は野外炊事。2日目は、グループで森の中のポイントを回る「オリエンテーリング」を楽しみました。

【もみの木遠足】



遠足も150周年記念バージョンということで、今年度は保護者や地域の皆様からご協力いただき、地域の魅力を再確認する「片貝町ウォークラリー」を実施しま

した。かたかい観光ボランティアの方から片貝小学校や地域、花火の歴史を学んだり、町内役員の方や住職様からもお話を聞いたりすることができるポイントもありました。

■中学校 皆川教頭先生

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、これまで制限されたり、中止をしたりしていた様々な教育活動が再開しています。

6・7月には中越地区大会と中越吹奏楽コンクールが開催されました。

9月16日に体育祭を開催しました。スローガンは「輝け～笑顔・絆・感動～」、全校生徒に笑顔が広がり、絆を深め、感動のある体育祭にしたいという思いを込めました。このスローガンがプリントされたTシャツを全員が着て臨み、リーダーだけでなく、全員が主役となり活躍しました。スローガンの通りに、絆が生まれ、笑顔のあふれる大成功の体育祭となりました。



秋の新人大会では、女子バレーボール部が優勝しました。

10月20日には、東京片貝会教育講演会を開催していただきました。

町のできごと

■第77回新潟県美術展覧会で四之町の相崎重明さんの作品「雪かき」が日本画部門で最高賞の県展賞となった。「雪かき」は冬の片貝ふれあい公園にて、巨木を前面に、背後に「忍字亭」を描いた作品。

■6/10、佐藤佐平治翁を偲ぶ催し「祭る」が4年ぶりに開催された。片貝伝統芸能保存会の木遣り、巫女翁が披露された他、新企画として「片貝にはこんなに素晴らしい文化人が!」をテーマに片貝文化展も開催された。

■町裏の黒崎哲郎さん(しん設備社長)が、長年にわたり安全運転管理を推進してきたことが評価され、新潟県警本部長・県安全運転管理者協会長の連名で表彰された。

■市と片貝煙火工業による「企業連携型地域おこし協力隊」として小千谷市出身で元AKB48メンバーの佐藤菜さんが着任。社員として勤務しつつ、「片貝花火むすめプロジェクト」を使い、「花火のまち片貝」や小千谷市のPR等を展開する。

■小千谷市消防団第8分団(片貝地区)が第59回新潟県消防協会北魚沼地区支会ポンプ操法競技会小型ポンプの部で優勝した。メンバー(敬称略)は太刀川研司(分団長)、小宮賢人、丸山拓也、佐藤淳也、吉井雄介、安達峻。

■山口製作所が日本塑性加工学会の学会賞の1つ技術開発賞を受賞した。アモルファスと呼ばれる結晶構造のない金属を薄くプレスせん断加工し積み重ねる特殊な技術で、自動車等のモータコアに利用することで省エネ等が期待される。

■来年以降の片貝まつりは9月第2土曜日と前日金曜日の2日間となり、令和6年(2024年)は9月13日(金)、14日(土)が開催日となること社務より発表された。

■片貝町郷土史研究会の講演会「片貝の鍛冶文化～「花火と職人のまち」の源流をたどって～」が開催された。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染もようやく収束し、久しぶりに新年会も開催できるようになりました。皆さまと新年会でお会いできるのを楽しみにしております。どうぞ良い年をお迎え下さい。

広報担当 徳永・小林・安達・相崎
news@tokyo-katakaikai.net



創刊 昭和38年
年2回(6・12月)刊
発行 東京片貝会

